

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



本会議で代表質問に立つ大塚耕平
第169回国会 2008/4/4

皆さん、こんにちは。お盆も過ぎてもうすぐ九月。今年の夏は暑いですね。この原稿を書いている今日は八月八日。やはり三十六度。かわら版をお配りしている二十一日も、まだ猛暑が続いているのでしょうか。

さて、「暑い夏」ならぬ「熱い国会」がもうすぐ始まりです。あと一年以内に総選挙が行われる中、秋の国会でも重要課題についてシッカリと議論をしたいと思っています。

医療や年金などの課題は山積していますが、喫緊(きつ きん)の課題は何と云っても景気対策。福田改造内閣の最優先課題です。

経済成長率の見通しが下方修正されたうえ、今月に入っ て政府は景気後退を認めまし とくに、不動産・建設関連

の倒産が急増。上半期の不動 産関連の倒産件数は約二千四 百件、負債総額約一兆二千億 円。前年同期に比べ、件数で 約一割、負債で約三割の増加 です。

原油高騰に伴う倒産も急増。 コストアップを主因とする倒 産件数は上半期で二百三十五 件、前年同期比の一・五倍、 既に昨年一年間の合計二百二 十九件を突破しています。

不動産関連倒産と原油高騰 産が本格的な景気後退を招き、 不況倒産が急増する事態にな らないように対策を講じなく てはなりません。福田さんの 手腕が問われます。

しかし、この件に関しては 少々疑問を感じます。そもそ も、景気対策は首相自らがリ ーダーシップを発揮して決断 できること。改造内閣での検 討を待たなくてはならないと ころに、一抹の不安と疑問を 感じます。

さらに言えば、内閣が改造 され、担当大臣が代わると「景 気は堅調」と言っていたのが どうして急に「景気後退」と 判断が変わるのでしょうか。 大田弘子前経済財政担当大臣 は先月も樂觀的なことを言っ ていました。与謝野馨経済財 政担当大臣に代わった途端に

「景気後退」宣言とは妙なこ とです。

もちろん、与謝野大臣の判 断の方が正しいと思います。 経済を専門分野とする僕とし ては、昨年から既に景気後 退が始まっていることを国会 で指摘していましたが、政府 が的確に対応しなかったこと は残念な限りです。

中国でのギョウザ食中毒発 生、米国原子力潜水艦の放射 能漏れなど、政府が国民に情 報を適切に伝えなかった事例 が後を絶ちません。景気判断 も「黒いものを白い」「白い ものを黒い」と言うかの如く、 国民を欺く「大本営発表」で あってはなりません。

こうした問題も含め、国会 では景気対策についてシッカ リ議論します。直接的には定 率減税の復活(家計の負担軽 減)や他の先進国に比べて高 い法人税率の引き下げができ ればベスト。簡単ではありませんが、その財源は、次々と 明るみに出てくる「税金のム グ遣い」の是正などによって 捻出する努力をしなければな りません。福田さんにしっか り問い質したいと思います。

かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元の覚王山に事務所を開き、故郷 覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で足かけ7年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

弘法さんかわら版
配り手ボランティア

募集

弘法さん
かわら版

since 2002

毎月21日
午前9時~11時
覚王山日泰寺参道で
お待ちしております!!

連絡先: 052 757 1955 黒田/佐久間

フクダさん、
国民を欺いたらいけませんよ!

